

# 標的検査マニュアル

標的検査用紙			
《射手記入欄》太線枠内の必要事項だけ記入する事		SRAJ ※本用紙はA4で印刷してください	
大会名	平成24年 夏季九州学生ライフル射撃選手権大会		
日付	7月 8日 (日)	種目	AR10mS60MW
氏名	九州 太郎	大学名	〇〇大学
射群-射座	1-12		
標的訂正箇所	27、47、57		
《以下標的検査係記入欄》検査した結果、標的の不備がある場合は以下に具体的に記述			
標的の不備がある点について			
例) 1、4、5、7、17、			
《標的検査係連番記入欄》		【補足】	
〇〇〇〇〇~〇〇〇〇〇		用具検査と標的検査はそれぞれ独立工程になっています。	
標的のサイン		標的を検査に提出する場合は必ずこの用紙と一緒に出してください。	
佐		検査終了後、標的と用紙は同時に返します。	
		この用紙は、競技開始前に射場長が回収しますので、用具検査用紙とともに射座後方の分かりやすい位置に提示しておいて下さい。	

1. 標的検査員は射手が銃検に来たら、標的と標的検査用紙を受け取ります。
2. 学連標的の番号が連番になっているか、射群・射座が間違っていないか、書き込んである数字が学連数字になっているか、枚数が試射の4枚・本射的60枚あるかを確認する。※試射的は連番になっていなくてもかまいません。
3. 標的の学連数字に間違いがあった場合、標的検査員記入欄に記入する。間違いは射手に訂正印を押して書き直すように言う。
4. 学連数字などの間違いがなかった、もしくは間違いが射手によって訂正が済んだら本射的の1と60の番号を記入する。



5. 本射的の1枚目の右下に学連印を青で押す。
6. 標的検査用紙に記入漏れがないか、学連数字のミスがないかを確認する。何も問題がなければ標的のサイン欄にサインする。
7. 標的検査用紙を標的に挟んでおく。